

大久保地区・地域だより

No.102 さわやかおおくぼ

写真
募集して下さる
よろしく！

2024年3月31日発行 編集・発行 大久保地域センター管理運営委員会広報部 ☎03-3209-3961



親子パン教室 令和6年2月25日(日)



講師：森田恵美子

“こうやって作るんだ”興味津々
パン作りはおもしろい！

行事予定

お待たせしました！



盆踊り教室 令和6年7月21日(日)
手打ちうどん教室 令和6年8月5日(月)
朗読会「怪談話」 令和6年8月25日(日)

※行事は変更になることがあります。

編集後記

さわやかおおくぼ102号も無事発行することができました。
皆さまのご協力、ありがとうございました。

令和6年度も、「五月まつり」ははじめ盛りだくさんの楽しい
行事が、多くの皆さまのご参加をお待ちしています。

問い合わせ TEL 03(3209)3961
大久保地域センター FAX 03(3209)3962

手づくり味噌教室 令和5年11月28日(火)



味噌2キログラムの材料

・大豆 500グラム
・米麹 500グラム
・塩 250グラム

講師：井上美那子

自分で作った味噌は
本当においしい！
一度試してみてください！

琵琶がたり

令和6年1月21日(日)

奏者：横井旭壽

演目：『俊寛』『淀君』

雨の中、初めての参加者も
含めて多くの方が素晴らしい
弦の音に耳を傾けました。
出会うことの少ない「琵琶
がたり」楽しんでいただけた
でしょうか。



「フラワーアレンジメント教室」令和6年2月1日(木)



講師：森 美智子 (ディドリーム)

ラン・パンダという素敵な花を中心に先生
の笑顔と共に参加者全員が違う表現でアレン
ジできました。それぞれ違ってみんないい！

秋は利用団体の
発表会

開館 30 周年記念 五月まつり 第 2 部

芸能まつりステージ

レッツゴー！
大久保
地域センター

キッズステージ

秋のイベント 令和5年11月11日(土)

大久保二丁目会 百々寿会

親子合唱団

大久保未来組

戸山地域愛好会

もくれん会

日本舞踊 仁の会

みずき会

天神小学校

ザ・ハッピーサクセス

西戸山トワローズ

民謡同友会

日本詩吟学院岳風会

輪投げゲーム

お楽しみ広場

レッツゴー！ゲーム券で輪投げに
チャレンジして駄菓子をもらおう

おりがみブース
おりがみをしよう



- ・家族、友人といるとき
- ・感謝されたとき
- ・ほめられたとき
- ・友達と話をしているとき
- ・ゲームの時間
- ・土曜日になったとき



10才代～20才代



30才代～50才代

- ・お風呂でゆっくりしているとき
- ・美味しい物を食べてるとき
- ・老いても夫婦で一緒にいるとき
- ・旅行したり、歌をうたっているとき
- ・お酒の時間



60才代以上

「五月まつり」アンケートより

み～つけた！

ほっとする場所を



春はさくら、夏は新緑、秋は紅葉と四季折々、いろいろな姿をみせる。



ほっとする場所を探そう！と思った時、
「そうだ！喫茶店だ」といろいろな喫茶店をめぐりました。
あなたも見つけてみませんか。

韓流カフェに

行って来ました

大久保地区に30店あまりあるという韓流カフェ、地元に住む者にとっては馴染みの薄い存在に思えます。観光中の若い女性グループに最近オープンしたばかり、というカフェを教えてもらいました。2人用のテーブルが10個余りの小ぢんまりとした店でしたがほぼ満席でした。勇気を出して、偶にはこんな探訪も如何でしょうか。

こんなカフェも

コミュニティ カフェ

ルーテル教会のロビーで原則的に第1、第3水曜日、NGO（非政府組織）グループのスタッフによって開かれている非営利の小さなカフェです。オープンの目的の一つは居場所作りだと言います。地域に住む孤独な高齢者や、居場所のない外国籍の若者たち等に気軽に立ち寄れる場所、困ったことがあればスタッフに相談できる、ということもあるのでしょう。

その日にはミニコンサートやミニ講演会、料理教室等も併演されとのことです。



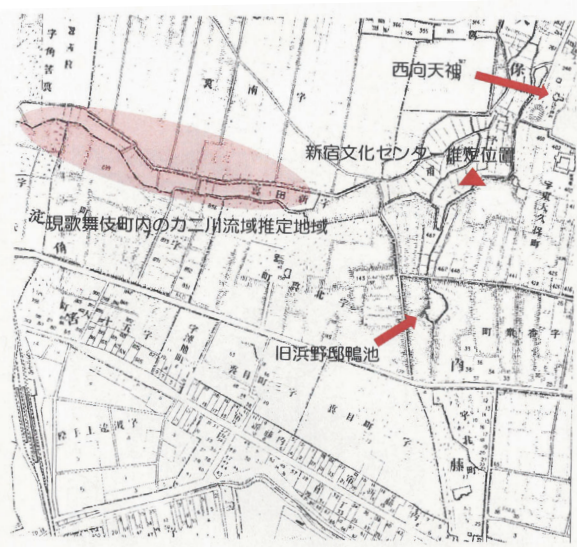
「尾張公戸山邸図」(国会図書館デジタルアーカイブ)

新宿歴史博物館館長の鈴木靖学芸員の解説という魅力的なツアーに惹かれて、参加してみました。集合地の戸山公園は、かつて江戸時代に尾張藩の下屋敷のあったところで、「養老泉」という碑が立っている場所が出発点でした。この泉は下屋敷の庭内にあり、蟹川に注ぎ込む湧水であった可能性もあるようです。

早稲田大学学生会館近くで興味深い話を伺いました。この会館が建設された時、たくさんの

「蟹川の源流を探る」に参加して

戸山荘歴史ガイドツアー



明治28(1895)年「東京実測図」(部分)より

出土品が出たそうです。それに池の水を落としていたかなり深く立派な滝の石組み跡も残っていたとのこと、下屋敷の池の大きさが窺われます。石組みの多くは尾張藩の地元愛知県の徳川園に運ばれましたが、一部は学生会館に展示され、誰でも見る事ができるようでした。

箱根山に向かいました。山手線内で最も高い山、と言われていますがこの山は、庭内に大きな池を造つた際に掘り出した大量の土で築かれた人工の山です。蟹川はこの山の麓から東戸山小学校校庭の中央を通っていました。



「江戸名所図会」より

主催 戸山公園×新宿歴史博物館

この雨水から始まった蟹川という小川は、戸山公園から早稲田田んぼを抜け神田川へと合流するのです。歴史を歩いた楽しい二時間の旅でした。

小学校から大久保通りを突っ切って西向天神社まで、見えない川に沿って歩きました。ここは参加者に渡された「江戸名所図会」を見ると、大窪天満宮と書かれており挿絵には蟹川とそこに架けられた橋が描かれていました。

西向天神社の階段を降りたあたりで蟹川は二つに分かれ、一つは歌舞伎町のゴジラが見えるあたり、もう一つは蟹川から水を引いて鴨池を造つたという「旧浜野邸」を通り、太宗寺に着きます。太宗寺の北側（現新宿公園）にあった小さな池が蟹川の源流と言われています。池は、宿場作りで行き場がなくなった雨水が溜まってできたものようです。流れを遡ってやっと源流にたどり着きました。



新宿六丁目 文化センター通り

水源は西武新宿駅付近。歌舞伎町の中心を走る花道通りや、新宿六丁目の文化センター通りが、その流路でした。川は、下末吉面と武蔵野面という、高さの異なる2つの段丘の境界に沿って流れていたのです。

川には支流がありました。新宿二丁目の太宗寺付近を水源とするこの川は、西向天神社の眼下で本流と重なり、豊かな流れとなります。蟹川は、この地に、深く「大きな窪」をもたらしました。大久保の誕生です。窪地には田園風景が広がっていました。新宿七丁目には、今でも、梯子坂、久左衛門坂、椎木坂などの坂があって、台地側と窪地とを結んでいます。梯子坂は、『タモリのTOKYO 坂道美学入門』（講談社）でも紹介されていますが、坂の上に立ってみると、窪の深さを実感することができますだけでなく、蟹川の水源からその流路まで、在りし日の風景が目に見えてきます。椎木坂は旧大久保通りで、川を渡るための橋がかかっていました。

川は、大久保通りを越えて、戸山公園箱根山地区に入ります。江戸時代、この広大な土地は尾張徳川家の下屋敷でした。「戸山荘」と呼ばれていた庭園で、蟹川はせき止められて大きな池となります。さらには、滝や橋、小田原宿を再現した町、玉円峰という山まで築かれました。今の箱根山です。まさに、テーマパークの元祖ですが、これも、蟹川の流れあってこそその景観でした。川は、早稲田を抜けて神田川へと注いでいました。



都電の線路跡

大久保風土記

蟹川のほとりで

大久保に、川が流れていたことを
ご存じでしょうか。
その川の名前は「蟹川」と言います。



新宿二丁目 太宗寺



新宿七丁目 梯子坂

大正3年、新宿六丁目の川沿いに都電が開通し、それを機に、沿線の田園は埋め立てられてしまいます。そして、昭和に入ると、旧大久保通りの頭上を並行するように新しい大久保通りが敷設されて、蟹川は暗渠となり、地上から消えてしまうのです。蟹川は、今では「第二戸山幹線」という下水道に姿を変えています。